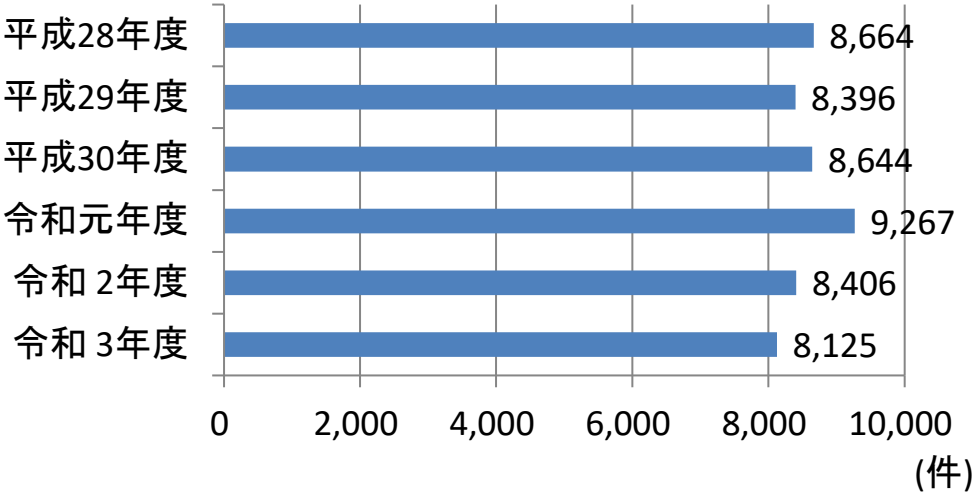


9 全手術件数

解説	国立大学病院は急性期医療の要であり,外科治療の力が問われます。その一つの指標として,手術件数を指標とします。 外科医,麻酔科医,看護師,手術室等のリソースは有限ですが,限られたスタッフと場所で効率的な運用をし,いかに手術件数を確保できるかが重要となります。手術スタッフ,設備,手術時間等の効率的な運用を総合的に判断する指標です。														
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>手術件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>8,664</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>8,396</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>8,644</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>9,267</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>8,406</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>8,125</td> </tr> </tbody> </table>	年度	手術件数 (件)	平成28年度	8,664	平成29年度	8,396	平成30年度	8,644	令和元年度	9,267	令和2年度	8,406	令和3年度	8,125
年度	手術件数 (件)														
平成28年度	8,664														
平成29年度	8,396														
平成30年度	8,644														
令和元年度	9,267														
令和2年度	8,406														
令和3年度	8,125														
定義	手術室で行われたK920(輸血)以外の手術(Kコードに限る)の件数です。ただし複数術野の手術等,一手術で複数のKコードを持つ場合も合わせて1件とします。(医事算定を用いて算出。)														

※本院独自の指標